

生活の援助技術Ⅱ「口腔ケア」課題レポート の利用に関するお願い

2年生の皆さんへ

人を対象とする研究を行う際には、原則として対象となる方から直接同意をいただくことが必要となりますが、既に得られている情報等を使用する研究については、国が定める「人を対象とする生命科学・医学系研究に関する倫理指針」に基づき、対象となる方から直接同意をいただく代わりに、研究に用いられる調査情報等の利用目的を含む研究内容を公開し、研究が実施されることについて対象者（代諾者を含む）が拒否できる機会を保障することが必要とされています。これを「オプトアウト」といいます。

研究課題「看護学生1年次の生活援助技術演習における口腔ケアのレポート分析」において、皆さんが提出された課題レポートの利用許諾を、オプトアウトの対応で取らせていただきたいと思います。

この研究は、敦賀市立看護大学研究倫理審査委員会の審査を受け承認を得て行っているものであり、研究の成果は、学会や専門誌などの発表に使用される場合がありますが、名前など個人が特定できるような情報が公表されることはありません。

自身の課題レポートを研究に使用してほしくない場合は、下記の連絡先にご連絡ください。拒否されたレポートについては使用しません。また、同意の可否によって履修している科目の成績や学生生活には一切影響しません。

連絡期間は、**2025年4月1日～4月30日**までです。

■研究課題

「看護学生1年次の生活援助技術演習における口腔ケアのレポート分析」

■研究代表者

前敦賀市立看護大学 教授 道重文子

■研究目的

口腔ケア演習の事前事後の課題レポートの記述内容の分析から学生の学びを明らかにし、看護における口腔ケア教育内容を検討すること

■利用する情報

対象：敦賀市立看護大学の2024（令和6）年度の「生活の援助技術Ⅱ」履修生が提出した
口腔ケア演習の課題レポート

■個人情報の取り扱い

連絡期間内であれば、意思表示の変更は可能です。期間を過ぎると、個人名を削除しているため撤回することはできません。

拒否をされる場合の連絡先である道重は、今後、本学での皆さんの学業に携わることがないので、成績や学生生活等に影響することはありません。

統合した内容は、研究者間で内容分析をしますので個人が特定されることはありません。
また、パスワード付きのUSBに保存し、安全管理の徹底を図ります。

■企業などからの資金提供の有無

本研究に関して開示すべき利益相反関係にある企業などはありません。

■お問い合わせ先

研究代表者：道重文子（前敦賀市立看護大学 看護学部）
mail：f-michishige@tsuruga-nu.ac.jp